

# 平成23年度研究交流会

福島大学 共生システム理工学類  
人間支援システム専攻



人と環境にやさしい  
新たなものづくりを目指して

平成24年 **1月21日(土)** **入場無料**

**時間** 13:00 ~ 17:00 開場12時予定

**会場** コラッセふくしま 5階研修室AB

主催: 福島大学 共生システム理工学類 人間支援システム専攻



(C) Ryoko Futami

お問  
い合  
わせ  
先

福島大学 理工学群 共生システム理工学類  
人間支援システム専攻 岡沼 信一

〒960-1296 福島市金谷川1番地 Phone:024-548-8178  
E-mail:okanuma@sss.fukushima-u.ac.jp  
<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/>

# 平成23年度研究交流会

ふくしま産業交流フェア2012と併せて開催

プログラム	12:30~	ポスター掲示
	13:00~	あいさつ(学類長)
	13:05~	講演1 「teiten2000教材開発システムの整備」 篠田 伸夫 教授
		概要：定点景観写真と気象データを収集し続けた teiten2000 プロジェクトは、320 万枚の景観画像をアーカイブできた。これらのデータを教材として活用する教材開発システムを、現場の先生と共同で開発しているの、その経過を報告する。
	13:45~	講演2 「身体装着型センサによる陸上短距離走フォームの計測と解析」 二見 亮弘 教授
		概要：トップレベルの競技者と愛好家レベルの選手を対象とした走動作計測・解析システムを作成した。3軸加速度センサを両膝下付近に装着して利用し、フォームの選手間変動、選手内変動などを評価し、実用化のための課題を明らかにした。
	14:25~	講演3 「福島県における親と子の災害ストレスアセスメントに関する結果報告」 筒井 雄二 教授
		概要：震災後の心のケアが注目されてきたが、その中心は、当初、PTSDにあった。我々は、原発事故がもたらした心の問題はPTSDの問題とは別である可能性を指摘、県内の児童・幼児とその保護者を対象にストレスアセスメントを実施した(2011年夏)ので、その結果を報告する(福島大学 子どもの心のストレスアセスメントチーム)。
	15:05~	休憩・ポスタープレゼンテーション
	15:20~	特別講演 「放射性物質の環境中での分布と農産物への移行」 講師：村松 康行氏(学習院大学 教授)
	概要：原発事故により放出された放射性物質が環境中でどのように分布しており、農作物へはどの程度取り込まれるかについて、分析データをもとに解説する。また、森林における放射性セシウムの循環やヨウ素-129を用いたヨウ素-131の降下量の推定などについても紹介する。	
16:20~	本専攻教員の連携研究実施企業の講演 「n型半導体(サーミスタ用)の利活用の高度化を目指して」 講師：内山 聡氏((株)福島芝浦電子・技術部技術開発課長)	
	概要：(株)福島芝浦電子は1984年より本宮市において創業、生産を開始し、n型半導体(サーミスタ用)を用いた計測・制御用サーミスタ素子及びセンサに特化し、ユーザーニーズに適合したサーミスタの開発に注力し、努力を積み重ねてきている。この講演では、サーミスタの特性、なかでも機械的特性について福島大学と行った連携研究について、実施に至る経緯など概要を説明する。	
16:40~	専攻長挨拶ののち、終了	

**主催** 福島大学  
共生システム理工学類  
人間支援システム専攻

